

# 平成 28 年第 13 回沖縄県教育委員会会議（定例会）議事録

## 1 開会及び閉会に関する事項

平成 28 年 9 月 15 日 午後 3 時 00 分開会

午後 3 時 37 分閉会

## 2 出席者及び欠席委員の氏名

### (1) 出席者

教育長 平敷 昭人	委員 喜友名 朝春	委員 新崎 速
委員 照屋 尚子	委員 玉城 きみ子	委員 泉川 良範

### (2) 欠席委員

なし

## 3 説明のため会議に出席した職員の職氏名

教育管理統括監	宜野座 葵	教育指導統括監	與那嶺 善道
参事	新垣 悦男	総務課長	親泊 信一郎
教育支援課長	登川 安政	施設課長	識名 敦
学校人事課長	新垣 健一	県立学校教育課長	半嶺 満
義務教育課長	石川 聡	保健体育課長	平良 朝治
生涯学習振興課長	佐次田 薫	文化財課長	萩尾 俊章

## 4 議事関係

### (1) 開会

平敷教育長が開会を宣告した。

### (2) 議事日程の決定

議事日程は、会議資料記載の日程案のとおりとすることが決定された。

### (3) 平成 28 年第 12 回議事録の承認

全出席委員異議なく、平成 28 年第 12 回議事録を承認した。

### (4) 議事録署名人の指名

平敷教育長が、喜友名委員を議事録署名人に指名した。

(5) 報告事項

報告事項1・教育委員会の権限事務にかかる教育長の臨時代理（県議会議案「平成28年度沖縄県一般会計補正予算（第2号）」に対する意見

【説明（総務課長）】

資料に基づき、教育委員会の権限事務にかかる教育長の臨時代理（県議会議案「平成28年度沖縄県一般会計補正予算（第2号）」に対する意見について報告を行った。

【質疑等】

- 新崎委員 歳出の4番目に掲げられている「学校・家庭・地域の連携協力推進事業」についてです。事業の概要では学習支援に必要なICT機器等の整備費に対する補助となっておりますが、市町村が実施する取組のようですけど、具体的にはどのような内容になるのですか。
  
- 総務課長 こちらの質問に関しては、主管課から回答いたします。
  
- 生涯学習振興課長 今回この補助事業を活用する市町村は宮古島市と南城市になっております。宮古島市においては、タブレットや無線LANルーターの購入を予定しており、タブレットを使って学習テキストを活用するということで子どもたちに興味を持たせて学習意欲を湧かすというような目的でタブレットを使って授業をしたいということです。南城市においては、プロジェクターとスクリーン、カメラ等を予定していて、南城市の想定では80人くらいが参加人数となるだろうと見込んで、プロジェクターを使用し参加者全員に解説するという形で学習支援環境を良くしていく、という内容となっております。
  
- 玉城委員 1番目の「就学援助制度周知広報事業」とありますが、これまで保護者の中にはこのような制度があることを知らなかったという方もいて、今後周知徹底により子ども達の学習環境が整えられていくものかと思いますが、私が学校長をしていて非常に悩んだことは、なかなか学校に足を運ばない保護者の方とか、手続き等を面倒がって、なかなか応じてくれない、家に足繁く通っても、なかなか会うことはできないということがありました。そのような方達にどのような方法で周知徹底を行っていくのか具体的にお教えいただきたい。一番難しい方々への周知の仕方がどうなっているのか教えていただければと思います。
  
- 教育支援課長 先だっけの子ども生活福祉部が行いました子どもの貧困実態調査で、就学援助を受けなかった家庭において、制度を知らなかったという家庭が20%ございました。更に周りの目が気になって申し込みを行わなかったという家庭が5～10%ございました。今回の周知広報事業は、この制度について分かりやすく届くような形で行うことを目的としています。これはテレビ、ラジオを通じて分かり易く行います。もう一つ、周りの目が気になるということに関して、この制度は子ども達のためになるということを県民全体に知ってもらい、この活用をさらに広げていくということ

目的としております。具体的なものとしましては二つの事例がございます。先ほど申し上げましたように、テレビ、ラジオを通じて、多くの市町村で就学援助の申し込みが始まる4月の前、2月下旬から3月にスポットでの就学援助制度の広報活動、それともう一つは、配布資料の方で、イラスト等をふんだんに使用し、ぱっと見てわかるパンフレットのモデルをいくつか作りまして、市町村に活用していただきながら、こういった制度があるのかと、文字を追わなくても就学援助制度についての理解を深めてもらえるものを作る予定でございます。

- 教育長 補足しますと、市町村によって連絡先もそれぞれ違いますので、ベースになる部分を県で作って、それを活用してもらって、学校などに配布するパンフレットにしたいということです。
- 玉城委員 特に、学校現場でのこういう働きかけを強くしていかないと、ややともするとどこかでこう抜け落ちたりすることが出てくると思います。市町村にはそういった面を強く要望したいと思います。
- 教育長 連絡会議等の機会にいろいろ働きかけていきたいと思います。
- 教育支援課長 各市町村教育委員会とも検討委員会を開催しながら、こういった形で行ったほうがより届くのか、それも検討しながら実施して参ります。
- 喜友名委員 3番目の「自立を目指す特別支援教育環境整備事業」とありますが、これは現在押し進めているインクルーシブ教育システムの構築との関連なのかと思いますが、具体的にどういう事業か教えていただきたい。
- 教育支援課長 特別支援学校の児童・生徒については、コンピューター等の情報機器が学習の困難を改善するのに非常に有効でございます。今回の事業は23,101千円計上しておりますが、今回はそのための情報機器の整備といたしましてiPadの整備、情報端末機器を39台、各学校の無線LANのアクセスポイントを116台整備して情報機器の活用を促進させる事業でございます。ちなみに学校数は、特別支援学校18校、3分教室に整備していく予定でございます。

報告事項2・平成28年度全国高等学校総合体育大会（2016情熱疾走中国総体）結果報告

【説明（保健体育課長）】

資料に基づき、平成28年度全国高等学校総合体育大会（2016情熱疾走中国総体）の結果報告を行った。

【質疑等】

- 照屋委員 団体の部で、女子のなぎなた団体の部が優勝ということで、前年度と比べ

て団体競技の入賞が少なくなっていますけれども、女子のなぎなた団体の部が優勝したということは素晴らしいと思います。高校総体に出場するためには、生徒だけではなく、監督やコーチやマネージャー、家族の支援があつてこそだと思いますので、関係者の方々に敬意を表したいと思います。

- 新崎委員 少し落ちてるのですが、何か要因とか、特別なものがありますか。
- 保健体育課長 課において分析をしておりますが、いくつか要因は考えられます。2010年の美ら島沖縄総体2010の後、指導者や組織的なものが一端リセットされたこと、それから県外への選手の流出等々、これはあくまで課内の現時点での考えでございます。更に今後分析を進めていきたいと思ひます。
- 新崎委員 例えば1位、2位の順にみると、若干落ちてはいるのですが、両方合わせたの成績を見てみると、今年度は1位と2位がそれぞれ3種目、それから3位が2種目と成果を出しているのですよね。そしてやはり全国トップレベルの成績を残すということは、私は並大抵の努力では成し遂げることはできないだろうと思ひます。それだけに素晴らしい成績だと評価をしております。日頃の選手本人と努力と、指導者の献身的な指導に敬意を表したいと思ひます。ぜひ、2020年はオリンピックもありますので、それに向けてもまたぜひ指導強化していただきたいと思ひます。

### 報告事項3・第40回全国高等学校総合文化祭等の結果報告

#### 【説明（文化財課長）】

資料に基づき、第40回全国高等学校総合文化祭等の結果報告を行った。

#### 【質疑等】

- 玉城委員 高校生の素晴らしい活躍に生徒と指導の先生方へ本当に大きな拍手を送りたいと思ひます。去る7月20日に、この文化祭に向けての激励会がございました。その際にいくつかの演技を拝見させていただき、大変感銘を受けました。その中でも、本県の高校生の郷土芸能というのは高い定評がござまして、かなり優秀な成績を毎年収めている記憶があります。今回も郷土芸能は凄かったのに、残念な思いがございませぬ。何か審査基準が変わったとか、課題とかそういったことは見つかったのでしょうか。
- 文化財課長 レベルはやはりトップレベルで、本来ならば受賞してもおかしくないのですが、なるべく色々な高校に与えようという考え方があるのかもしれない。昨年度に比べて、レベルが落ちたとかそのような話ではございませぬ。
- 玉城委員 今後またどういう形でやっていけばいいのかと大変悩んでしまいますね。

- 教育長 順位もさることながら、全国の同じような活動をしている生徒達と交流するという自体に価値があるのかなと思います。
- 玉城委員 そのように考えなければなりませんね。
- 教育長 自然科学部門の生徒達の発表を聞いた際も、しっかりとした調査に基づいて堂々と発表して、質問にも答えていました。
- 玉城委員 そうですね。素晴らしいと思います。
- 泉川委員 順位というのは一つの目安ですので、スポーツでも、文化的なことでも、非常に価値のあるものだと思います。ただ、特に文化的なものは元々順位付けに馴染まないということがあります。文化的価値を愛でたり、評価したりする基準を我々が持たないから、とりあえず順位でやる部分は部分として、教育長が仰ったように、交流があったとか、自己表現がしっかりできたとか、それを楽しんでいたとか、そういったことも、見た方々から県民に発信していただいて、どういうことが行われているのかなということで、順位だけではない別の要素もしっかりドキュメントとして広報というかそのような形で県民に共有できたらと思います。併せて、順位ということにこだわりはないのですが、裾野が広いということが、そういった物を高める一つの要素だと思いますので、特別な人が少ししかいないというよりは、沢山の方が琉球舞踊だったり、ウェイトリフティングだったり、分かり易いところと言えば野球とかバスケットとかハンドボールとかを楽しむ人達を増やしていくという発想と相まって、結果がよければなお良いというような形で進められたら一番望ましいのではないかと思います。特に文化的なものについては、ややともすると分かりにくい面がありますので、あえて、自己表現とか、表現ということの価値とか、そういったものをもう少しアピールしたらどうかと思います。
- 玉城委員 できたら中学生とか、発表の場があって多くの子ども達がそういったものに触れるというのは、非常に希望とか憧れを持って進むのではないかと感じました。それがまた一つの評価にも繋がっていくのかなと思います。
- 文化財課長 県の総合文化祭もありますし、中学校、小学校でも総合文化祭が行われており、実際に行くとかかなり凄いです。中学生も、小学生も良い発表をします。また、来年度は九州の高校総合文化祭が沖縄で開催されます。沖縄県に他県の高校生も来て、実際に発表や交流が行われますので、そのあたりも踏まえて高文連と連携しながらアピールする機会を増やしていきたいと考えております。
- 照屋委員 以前、大学で音楽の教授をなさっている先生とお話した時に、沖縄県は高い技術は持っているのだけど、楽器がメンテナンスされていなくて、いつまでもメ

メンテナンスされていない古い楽器を使っているために良い音が出せないのだという話がありました。マーチングとかでは生徒は個人の楽器を使っているのだと思います。大きい楽器は学校の備品なのかもしれませんが、そういったメンテナンス費を助成するといった取組はできないかなと思っています。

- 文化財課長 高文連・中文連等に県の方から補助を出しているのですが、主要なものはほとんど全国大会への派遣費等に使用されているので、今仰ったような、楽器の修理とかメンテナンスに関しては、現状では出していない状況であります。
- 照屋委員 本県は県民所得も低いのですが、その中で自分の楽器を買って大会に出ているのだと思います。友人が弦楽器の工房を営んでいるのですが、メンテナンスをしないまま、ずっとコンクールとかで使っているような感じですねという話を聞いたことがあります。そのあたりもバックアップできればいいなと思います。
- 文化財課長 高文連の音楽部門の方とも意見交換をして、どのような課題があるのか把握していきたいと思います。
- 新崎委員 報告にあった部門だけでも、放送、自然科学部門、マーチング、囲碁や写真等多くの部門で全国トップレベルの活躍が見られます。それも、高等学校総合文化祭だけではなく、写真甲子園で準優勝、放送コンテスト1位相当、ものづくり競技会金賞、と全国の上位を占めています。毎年著しい成績を残しているのは、沖縄の生徒達に何か特別な資質が備わっているのではないかと思ったりもしますが、豊かな芸術性を持った沖縄の独特の伝統文化が土壌にあって、そこから芸術性だとか創造性が生徒達に培われているのかなと思いを膨らませております。学校でも色々と取り組まれて、ますます活躍されることを期待しております。

(6) 議案審議

なし

(7) その他

特になし

(8) 閉会

平敷教育長が閉会を宣言した。